

事業所名

YMCAクローバークラブ川越

## 支援プログラム

作成日

2024年

9月

17日

法人（事業所）理念		キリスト教の精神に基づき、青少年の心身の健全な成長を図るとともに奉仕の精神を養い、もって民主的な社会の発展と世界の平和に寄与する事を目的とする。								
支援方針		生活能力の向上のために必要な支援を行い、社会と交流を図ることができるよう、当該児童の心身の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効率的な支援を行うものとします。社会に出てから必要となるライフスキルを身につけることを目標としています。「こうすればいい」という一方通行な指導ではなく、子どもたちの得意な部分を活かし、苦手な部分には一緒にその解決策を考えていく伴走する姿勢を大切にしています。								
営業時間		平日：	14時	0分	から	20時	0分	まで	送迎実施の有無	あり 
		学校休業日及び 長期休暇	10時	0分	から	16時	0分	まで		
支 援 内 容										
本人 支 援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユネスコで推奨している性に関する内容を特性や年齢等に合わせて指導</li> <li>・一食分の食事を計画、買い出し、食べ、片付けまで行う</li> <li>・年に数回の避難訓練、防災意識の向上を行う</li> <li>・構造化等によるライフスキルトレーニングを行う</li> <li>・交通ルールを理解</li> <li>・スマホの功罪</li> <li>・社会生活場面でのマナーや対応力を育む</li> </ul>								
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚提示を用いながら感覚統合を行う</li> <li>・散歩や室内で取り組める体操等を通して、スムーズな身体の動かし方や基礎体力の向上を促す</li> </ul>								
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢、特徴に合わせたきめ細かな支援、認知行動療法に基づくソーシャルナラティブの提示をする</li> <li>・感情の5段階表を用いた行動障害への予防と対応等の支援</li> </ul>								
	言語 コミュニケーション	話し方パターンの提示・評価・感情語・比喩表現の提示をし、自分の意見をわかりやすく相手に伝えるやり方、仲間の意見を受け入れるなどより良く生きていくために必要なコミュニケーションスキルを身につける								
	人間関係 社会性	集団としての規律・ルールの提示をし、活動を通して仲間とかかわりながら楽しさを共有し、ひとつのことをみんなでやり遂げる達成感等を体験する。仲間との関わりを通して自己理解を深め、自分のことを前向きに受け止められる力を身につける。								
家族支援		月に1度、保護者のつどいを開催。保護者同士の交流の機会となっています。必要に応じて個別面談を行い、お子さまの発達特性についての理解、将来に向けて進路先や繋がり先の情報提供を行っています。特別プログラムでは、兄弟で参加できる枠を設けています。	移行支援		放課後児童クラブ等、外部団体との連携を行い、必要に応じて訪問等しながら支援を進めています。また、ご本人、ご家族がより良い将来を見据えることができるよう情報提供を行います。卒業後の自立に向けたトレーニング(一人暮らし体験)等も行っていきます。					
地域支援・地域連携		地域や大学との連携を行いながら活動を行き来しています。事前に承諾を得た上で学校や病院と連携しながら情報共有し、個別支援計画に反映しています。他事業所との連携も行っていきます。	職員の質の向上		定期的に事業所内研修会を行っています。また、外部等の研修会にも参加しています。					
主な行事等		学校休業日、長期休暇期間には、自然体験、乗馬、博物館・工場見学、バス旅行等を行います。鉄道クラブ、ボウリング部、カラオケ部、サイクリング部など、中高生を中心とする課外活動も盛んです。希望制で地域の子も達や兄弟、卒業生を交えた埼玉YMCAの宿泊キャンプ等に参加可能です。								